神奈川県　障がい者雇用に向けた企業交流会

「ともに働く」 雇用事例報告

「定着は結果。当事者行う居場所づくりをバックアップ」

株式会社　スタックス

担当者　　星野　佳史

2026　copyright STAX co.,LTD

・事業内容

精密鈑金業

・宇宙・航空関係の部品製造

・医療機器筐体製造

・通信機器部品製造

・免震台足製造
（スウェイフット）

2026 copyright STAX co.,LTD

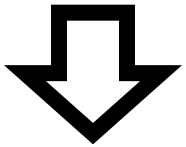
・雇用状況

従業員：全体　48名　※2026年10月現在

川崎本社：10名　営業3　工程事務3　品証1　出荷検査3（内2名障がい者）

勝浦事業所：11名　管理職1　製造8　事務1　出荷検査1

十日町事業所：27名　管理職1　営業2　製造18　事務3　出荷検査3



・S（31歳）　2014年9月入社　知的障害　就労移行支援所経由　フルタイムパート→正社員
業務：外観検査（形状・美観）、取引先出荷用梱包、進捗チェック　測定検査等

・U（32歳）　2017年1月入社　精神障害　就労移行支援所経由　週25時間（当初週10時間）
業務：外観検査（形状・美観）、各種組立業務

・T（62歳）　2015年9月入社　身体障害　2021年、持病の悪化に伴い身体障害を負う
業務：営業　自動車を使用した外回り、見積・調整業務

2026　copyright STAX co.,LTD

・障がい者雇用の経緯

・きっかけはCSR活動として

前社長（現会長）の「社会貢献したい」！という強い思いで、障がい者雇用への取り組みを始める。
当初は体験就労の受け入れから導入。

・私自身は当初否定的だった

CSRとしての障がい者雇用は大企業や余裕のある企業が推進していけば良いと考えていた。
受入の体制・ノウハウ・雇用を支える体力が足りないと感じていた。

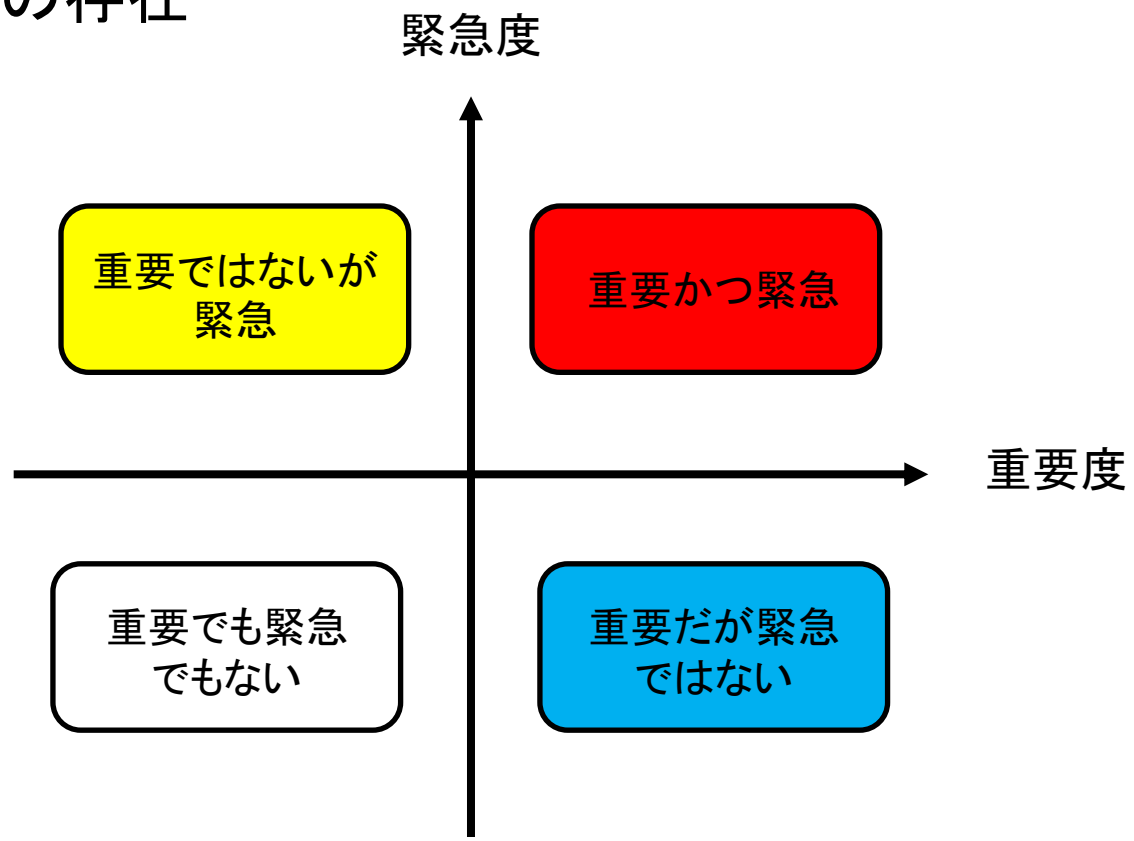
・CSRから戦力へ

利益に直結する業務に就ける。
必要不可欠な存在になり、居場所が出来る。

2026 copyright STAX co.,LTD

・短時間雇用採用の経緯

・「要不急」の仕事の存在



2026 copyright STAX co.,LTD

・重要だが緊急ではない仕事の種類

・付加価値を生む仕事（プラス1の仕事）
※いつかはやりたい仕事

・業務効率化に寄与する仕事
※いつかはやらなくてはいけない仕事

2026 copyright STAX co.,LTD

・実際の業務

・検査業務

「目視による外観全数予備検査」

傷や打痕の確認、あくまで予備検査なので最終検査は責任者が行う

「測定器具を使用した測定検査」

図面通りに製品が出来上がっているかのチェック

・組立業務

「部品組立」

金属製品同士を両面テープで組み立てる。事前準備も含んだ作業

「筐体組立」

ねじ止めやリベット止めで筐体を組み立てる作業

2026 copyright STAX co.,LTD

・結果的に定着に繋がったと思われる事

・【採用活動時】

・充足していない業務が実際に複数あった

・上記業務とマッチしそうな障害特性が明確だった

・【採用後のバックアップ】

・当初は「出勤してくる事」になれてもらった

・成果は求めるが時間には余裕を持った

・周りで働く他の従業員を納得させられる業務を担当させた

2026 copyright STAX co.,LTD

・採用から現在の状況までの経過

～振り返ってみれば【定着】までの道のり～

・Sさん：時間をゆっくりと掛けて適性を見極めながら
特性に合った業務を割り当てる
意欲的な部分を伸ばす方向で業務割当する

・Uさん：体調面の慣れを優先し、その後特性にあった
業務を割り当て「成功体験」を沢山積ませる
三歩進んで二歩下がるを意識する

2026 copyright STAX co.,LTD

・結果としての定着

・まとめ

定着する・定着させる事のみを目的とはしない。
当事者にマッチする業務を切り出し、その業務で周囲から認めれる事で、本人が自分自身で居場所を作り出す事が出来る。
自分で作った居場所があれば結果的に長く働く事に繋がっていく。

2026 copyright STAX co.,LTD

ご清聴ありがとうございました。

2025 copyright STAX co.,LTD